

「北東北の古代土師器生産」開催要項

趣旨

古代の土器生産については、遺構として顕著な須恵器生産窯を中心に多くの検討があり、土師器生産についても遺構の把握や検討が進められてきました。岩手県内でも近年の調査により、北上市を中心に多くの土師器生産遺構が確認されており、その様相が明らかになってきています。

そこで本大会では、土師器生産関連遺構、生産された製品の特徴や遺構との関係などを論点に、岩手県内、青森県、秋田県の様相を比較することで、古代における土師器生産の地域的な特徴を明らかにしていきたいと考えています。

1. 期日 平成27年7月11日（土）13：00～

2. 会場 北上市相去地区交流センター（北上市相去町小糠沢19）

3. 日程

12：30～ 第28回岩手考古学会総会（会員のみ参加）

第47回岩手考古学会研究大会

13：00 開会 あいさつ

13：05～14：05 基調講演 「東北地方における土師器焼成方法の変化」

北野博司 氏（東北芸術工科大学 教授）

14：05～14：35 「岩手県北の土師器生産」 福島正和 会員（岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター）

14：35～15：05 「岩手県南の土師器生産」 君島武史 会員（北上市教育委員会）

休憩

15：15～15：45 「古代末以降の土師器生産」 及川真紀 会員（奥州市教育委員会）

15：45～16：15 「横手周辺の須恵器生産と土師器生産」

島田祐悦 会員（横手市教育委員会）

16：15～16：45 「青森県の土師器生産」 木村 高 会員（青森県埋蔵文化財調査センター）

討議

司会 杉本 良 会員（北上市教育委員会）

17：30 終了

4. 申し込み等 研究大会の参加は岩手考古学会会員以外も歓迎いたします。

事前申し込み不要です。当日会場にお越しください。なお、資料代が500円となります。

5. 問い合わせ先 岩手考古学会事務局

盛岡市上田字松屋敷34 岩手県立博物館考古学整理室内 Tel. 019-661-2831